

環境行政の動き（2006-2014）と群馬県の環境の現状

年度	群馬県の取組	国等の動き
2006	環境G S 認定制度創設 群馬県流域別環境基準維持達成計画策定	
2007	尾瀬国立公園誕生(29番目の国立公園) 第10次鳥獣保護事業計画策定 群馬県一般廃棄物処理マスタープラン（県広域化計画）策定	尾瀬ビジョン策定 エコツーリズム推進法制定 第三次生物多様性国家戦略策定
2008	尾瀬学校開始	生物多様性基本法制定 京都議定書第1約束期間（～2012）
2009	群馬県地球温暖化防止条例制定 群馬県土壌汚染対策専門家会議設置	尾瀬国立公園シカ管理方針策定 生物多様性国家戦略2010策定
2010	環境基本計画(2006-2015)中間見直し 群馬県地球温暖化対策実行計画（2011-2020）策定 群馬県循環型社会づくり推進計画策定	生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)開催 生物多様性地域連携促進法制定 東日本大震災・福島第一原子力発電所事故発生
2011	第11次鳥獣保護事業計画策定 群馬県バイオマス活用推進計画策定	放射性物質汚染対処特別措置法制定 環境教育等促進法改正
2012	群馬県レッドデータブック改訂 渡良瀬遊水地ラムサール条約湿地登録 電源群馬プロジェクト開始	生物多様性国家戦略2012-2020策定
2013	群馬県土砂等による埋立て等の規制に関する条例制定 群馬県次世代自動車充電インフラ整備ビジョン策定	
2014	ぐんま緑の県民基金事業の創設 群馬県希少野生動植物の種の保護に関する条例制定 群馬県環境学習等推進行動計画策定	地域自然資産法制定

温室効果ガス

平成25年度の県内の温室効果ガス排出量は18,699千t-CO₂で、東日本大震災後のエネルギー情勢の変化により、電力1kWh当たりの二酸化炭素排出量が増えているため、震災後は二酸化炭素の排出量の削減が進んでいません。

温室効果ガスの県内排出量と
一人当たり二酸化炭素排出量の推移

